



スマートIoT推進フォーラムの活動概要

スマートIoT推進フォーラム事務局 **かみや けんし 神谷 健司**

1. はじめに

スマートIoT推進フォーラムは、IoT・ビッグデータ (BD)・人工知能 (AI) 等の技術の発展により、グローバルに、あらゆる分野で、その産業・社会構造が大きく変革しつつあることを踏まえ、産学官を挙げて新たな時代の変化に挑戦することを目的として2015年10月に設立された「IoT推進コンソーシアム」(会長:村井純慶應義塾大学教授)の下に、IoT関係の技術開発・実証を推進する技術開発ワーキング・グループとして設置された。

2. 活動の体制と活動内容

スマートIoT推進フォーラムではテーマごとの分科会・プロジェクトを設置し、IoT・データ活用等に関する技術開発・実証等について、有識者を交えての検討と情報発信を行っている。図に現在の活動体制を示す。

各分科会・プロジェクトの活動内容と2020年度の活動実績を以下に示す。

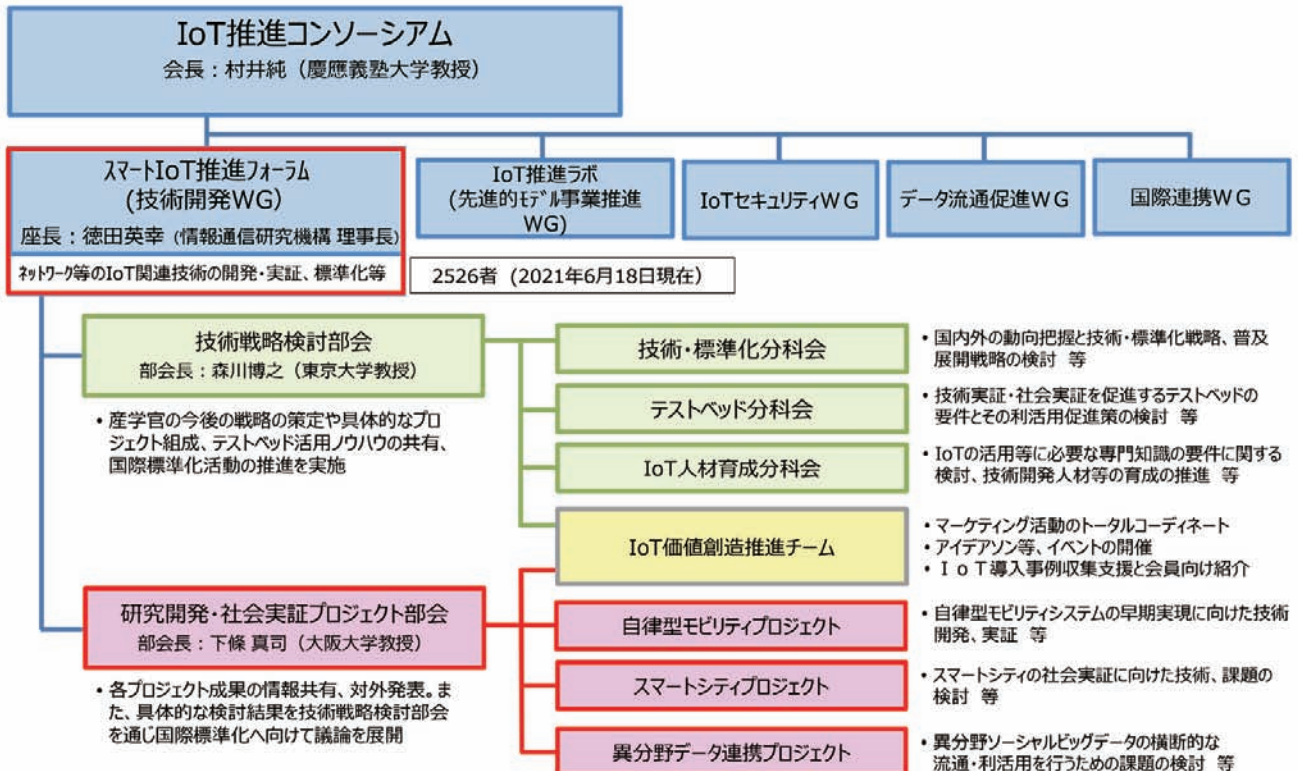
【技術・標準化分科会】

技術・標準化分科会は、IoT通信技術に関する国内外の動向把握と技術・標準化戦略、普及展開戦略の検討等を実施している。

2020年度は、3つのタスクフォースにて、IoT情報モデルの検討、エリアネットワーク運用管理規定の検討、センサ情報を使用したインフラ構造物の維持管理に関する検討を実施した。

【テストベッド分科会】

テストベッド分科会は、IoT・ビッグデータ (BD)・人工知能 (AI) 等に関する、技術実証・社会実証を促進するテ



■図. スマートIoT推進フォーラムの活動体制 (敬称略)



ストベットの要件とその利活用促進策の検討を行うことを目的とし、分科会、コアメンバー会議、各種検討会にて活動している。

2020年度は、データ分析・可視化タスクフォースを立ち上げ、ニーズ調査や周辺技術整理、可視化サンプルプログラムの要件検討を実施した。

【IoT人材育成分科会】

IOT人材育成分科会は、IoT時代のユーザ企業に求められるスキルに関する情報や、人材育成に関する各種取組み、IoT導入事例（ベストプラクティス）等を共有することを目的とした活動を行っている。

2020年度は、民間及び総務省におけるIoT人材育成の取組み紹介や、コロナ禍におけるIoT人材育成の取組みに関する意見交換を実施した。

【異分野データ連携プロジェクト】

異分野データ連携プロジェクトは、IoTデバイスやウェブ等からのデータ、国・地方自治体等が公開するオープンデータ、さらにはユーザ自らが保有するデータとの新しい連携を目指して、異分野ソーシャルビッグデータの横断的な流通・利活用を行うための課題を検討している。

2020年度は、環境・交通・健康分野における異分野データ連携のモデルケースの実証や研究開発、ASEAN地域との共同研究プロジェクトについて事例紹介等を実施した。

【IoT価値創造推進チーム】

IOT価値創造推進チームは、フォーラムの各分科会・プロジェクト等の活動状況を踏まえた組織横断的な取組みの推進及び会員向けサービス拡充に向けた取組みの推進を行っている。

2020年度は、IoT導入事例紹介*1、メールマガジン配信*2、会員向け情報発信、会員と連携したイベント開催、会員イベントの後援等を実施した。

3. IoT国際シンポジウム2020の開催

スマートIoT推進フォーラムでは、IoT・ビッグデータ（BD）の活用や標準化における国際連携等について定期的に国際シンポジウムを開催しており、2020年9月14日～10月30日の期間中にオンライン配信の形で実施した。

本シンポジウムでは、世界と日本のDX、スマートシティ分野におけるデータ利活用の推進（日欧連携）、DXを成功させるための方法をテーマに、産学を代表する有識者による講演やパネルディスカッションが行われた。本シンポジウムのコンテンツは現在もフォーラムWebページ*3から視聴可能となっている。

4. 第6回総会の開催

スマートIoT推進フォーラムは毎年3月に総会を開催し、一年の活動内容を報告するとともに、フォーラムの活動に関連した講演等を行っている。

2020年度は、コロナ禍の中でオンラインライブ配信による総会を2021年3月26日に開催した。本総会では、開催に先立ちスマートIoT推進フォーラム座長の挨拶に続いて、総務省より来賓挨拶が行われた。

2章に示した各分科会・プロジェクトからの活動報告に続いて、農業、公共インフラ、製造現場という異なる領域において、IoT・ビッグデータ・人工知能を活用することによって、様々な課題解決やDXを実現した事例についての講演が、株式会社オプティム、国際航業株式会社、株式会社KOSKAより行われた。講演の一部は「先進事例」として寄稿をいただいているので併せてご一読をいただきたい。

最後に、IoT時代の「ものづくり」の担い手となる若手エンジニア育成の裾野を広げることを目的としたIoTシステム開発のスキルアップイベント「Web×IoTメーカーズチャレンジ」の取組みや、今年度、コロナ禍の中でできるだけオンラインを活用して各地で開催されたハッカソンの表彰作品（プロトタイピング事例）についての紹介が、Web×IoTメーカーズチャレンジ実行委員会より行われた。

本総会の活動報告資料、講演資料はフォーラムWebページ*4よりダウンロード可能となっている。

*1 <https://smartiot-forum.jp/iot-val-team/iot-case>

*2 <https://smartiot-forum.jp/iot-val-team/iot-case/mailmagazine>

*3 <https://smartiot-forum.jp/about/forum-mt/sympo2020>

*4 <https://smartiot-forum.jp/about/forum-mt/soukai06>